



総合学術調査報告書発刊によせて

三好市長 俵 徹 太 郎

この度、阿波学会によって実施していただきました三好市「旧東祖谷山村」総合学術調査の成果がまとまり、ここに報告書が発刊される運びとなりましたことに、心からお慶びと御礼を申し上げます。

三好市は、平成18年3月1日に旧6か町村が合併し、新しい地方自治体として誕生したところであります。その記念すべき年に、阿波学会の総合学術調査が当市、東祖谷一円で繰り広げられ、このたび、三好市全域が調査終了となり、その報告書が発行されますことは、市並びに地域住民にとりまして大変意義深いものがございます。

平成18年7月28日、三好市東祖谷郷土文化保存伝習施設において、関係者多数のご参加のもとに結団式が挙行され、16班という多くの調査団により広範囲な分野にわたり、専門的な学術調査を実施していただきました。12月3日には、同施設におきまして調査報告会が開催され、各分野から内容の濃い発表をしていただきました。

調査団の皆様方には、期間中の様々な悪条件にもかかわらず、精力的に地区内を踏査され、多くの住民からの聞き取り調査など、大変なお苦勞をおかけいたしました。市としての支援も行き届きませんでした。調査団皆様のご熱意と市民各位のご協力により、多大な成果を以って調査が終了されました。ここに改めて、阿波学会、県立図書館の関係者並びに市民各位のご尽力とご協力に対し、衷心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

三好市は、四国のほぼ中央に位置しており、古くからこの地域は交通の要衝として、また、県西部での社会、経済、文化、観光の中心として発展してきました。大歩危峡や黒沢湿原、竜ヶ岳、剣山、といった豊かな自然や四国霊場第66番札所・雲辺寺、平家伝説が残る祖谷のかずら橋、そして、重要伝統的建造物群保存地区の落合集落や美しい日本の歴史的風土100選に選定された祖谷地方など、多くの歴史的文化遺産があり、今後は、これらの保存・活用に取り組み、後世に大切に引き継いでまいります。

今回の地質、地理、植物、動物、昆虫、住民意識調査や民間薬利用の実態、民家、社寺、古文書、民俗、方言等あらゆる分野で調査をしていただき、東祖谷区域の全容を知る事ができる貴重な資料であり三好市としてこれからの地域づくりに大いに活用できるものと期待をしているところであります。

結びにあたり、総合学術調査団の皆様方のご努力とご苦勞に対し深く感謝いたしますと共に、この調査にご協力、ご支援いただきました市民の皆様方に心から御礼申し上げます。阿波学会の今後ますますのご発展と会員各位の一層のご活躍をご祈念申し上げ発刊のお祝いと御礼の言葉といたします。